

あなたもお読みください
 真実つたえ希望はこぼ
 しんぶん **赤旗**
 日刊 1カ月 3400円
 日曜版1カ月 800円

手良民報

生活相談はお気軽に
 電話 78-0943
 赤旗読者に配達
 発行
 日本共産党・手良支部

32名が参加して

手良9条の会

「手良9条の会」(那須野文人会長・会員101名)は6月1日の夜に「憩いの家」で総会・講演会・懇親会を行いました。

会員外からも13名が参加し、全体で32名と部屋いっぱい、かつてない多くの参加がありました。

総会では会長から「自民党・公明党は憲法96条を変えようとするが、参議院選挙に不利といつて静かになつていくが、奥に9条を変えようという意図がある。民意を高めるねらいがある。民意を高めて参議院選挙では96条9条の改悪を阻止したい。そのためには先ず憲法についての学習を広げなければならぬ」とあいさつがありました。

前回総会以降の経過報告があり、今後の活動方針としては講演会・学習会・懇親会の開催、「憲法9条を守るひろみ通信」(170)

ひろみ通信

(170)

手良小学校学童クラブについて一般質問

六月市議会で手良小の学童クラブについて質問しました。最近在籍児童数が増えているので、小学校の体育館の付属施設ではせまい。手良公民館を建替えるときに、その中へ入れてはどうかと提案しました。市長の答弁は、現状の環境整備に力を入れます。今後

「の大会場の補修、」憲法9条をまもる」県民過半数署名行動等が決められました。

講演は信州大学名誉教授・元信州大学農学部部長の野口俊邦氏が憲法制定と「改正」の動向、いま、なぜ、96条改正か」と題して行いました。

96条改正が参院選の争点に、さらに9条および全面改正が現実化しており憲法改正の危機が急迫していることが話されました。そして平和憲法制定は単なるアメリカからの「押し付け」でないこと、日本のアメリカへの異常な追随、憲法9条の改正を迫るアメリカ、財界・政界の改正動向、自民党「憲法改正草案」改訂版の問題点等について話されました。

参加者からの質問では憲法も、引き続き取り組んでいきます。

TPP断固反対の陳情を趣旨採択?

六月市議会の経済建設委員会では、JA上伊那等から出された「TPP断固反対に関する陳情」を経済建設委員会が審査が行われま

私は、「TPPは国民に中身は一切知らされてない。農業や医療・食の安心安全・保険などが守られる

法9条の条項と現実が乖離しているが憲法改正することによって国民が自分たちの憲法であるという意識を持つことが出来るのではないかと、日本が外国から攻められた時に自衛のための武器をもっていないと国がなくなってしまうのではないかなどの質問がありました。

その後の懇親会も多くの人が参加し、きたかわたつ研一の「我が窮状」の歌も出て賑やかに懇親を深めました。



「手良9条の会」講演会

「清水まつり」に向けて俳句を募集

手良公民館と「井上井月を偲ぶ句会」が共催で「清水まつり」に向けて手良全域より俳句を募集し、21句が集まりました。

春日愚良子さん(有線 暮らしの文芸選者)による選句は次のとおりです。

天位賞 ちび忍者こいのぼりとあそんでる 菅野明子
 地位賞 鍬洗う水温みけりボケの花 宮原達明
 人位賞 土手焼きの煙に霞む櫻かな 宮原宗衛



手良公民館玄関前俳句

準位賞 強風に幟の鐘杵(しよつき)怒りけり 高橋 忠
 俳句は、「清水まつり」当日、庭先に掲示してまつりの雰囲気盛り上げました。

その後は手良公民館玄関前に掲示し、来館者の観覧に供しています。

参議院選挙にご支持ご協力を

日本共産党手良支部

間近に迫った参議院選挙は日本国の命運をかけた選挙です。

安倍内閣は前回改憲をとらえて大敗しましたが、今回は正面から改憲を唱え一歩つき進め国防軍をつくりアメリカとともに戦争の出来る国をねらっています。

中国、韓国、北朝鮮との間に問題があり改憲派を勢いづけていますが、紛争は武力でなく、冷静な平和外交を通じてねばり強い対話により解決すべきです。

TPP参加は日本が主権を失い売国的ともいえる協定であることが明らかになってきました。関税撤廃の例外の余地はまったくなく早期に撤退しなくてはなりません。そして多様な機能を持つ農業は自立農業振興に力を入れるべきです。

消費税増税については社会保障に使うんだと言いなから社

会福祉強化どころか大幅削減計画を立てています。これでは詐欺ではありませんか。

社会保障の財源がないから消費税の増税といっています。財源は大企業の内部留保260兆円の一部をあて富裕層には応分の負担をしてもらい、賃上げと中小企業への応援をすべきです。

原発問題は被災地福島は収束どころか原因もまだ解明できず放射能汚染水は溜まるばかりですが、この処理の見通しがつかないまま再稼働させようとしています。原発の再稼働は許せませんし、廃炉にして原発はゼロにすべきです。そして自然エネルギー開発に力を入れることが大切だと思います。

こうした重大問題をマスメディアはきちんと真実を伝えていないことも大きな問題です。

私たちはこれらの重大問題を地域のみならず訴え、明るい未来を切り開くよう頑張りたいと思います。そして、子ども、孫たちの未来に悔いを残さないようにしようではありませんか。どうかご支援

てらさど

小学校のプール開きが13日に行われて本格的な夏に入った。手良小学校のプールの使用期間は2カ月10日であるが、あつという間に夏は過ぎていく。子どもたちの歓声が地域のみならず元気を伝えてくれる。参議院選挙が近づいている。今度の選挙は日本国の命運をかけた重要な選挙である。政府自民党はいよいよ憲法9条を変えて国防軍を持つということまで言い出してきた。安倍体制下、アメリカの言つなりで、アメリカとともに戦争の出来る国をねらっているといわれる。アメリカは、軍需産業と国防省、議会が形成する経済的・軍事的・政治的な軍産複合体の国であり、名目をつけて世界のどこかで戦争をする国になつていくといわれる。ベトナム、イラク、アフガニスタンでの戦争しかりである。軍隊を持ちアメリカとの同盟国である韓国はその戦争に青年たちが送られた。アメリカは勿論であるが韓国の帰還兵の中には殺し殺される戦争で心を病み社会に溶け込めない「心的外傷後ストレス障害」(PTSD)で苦しんでいる青年がまだまだ多くいると聞く。「手良9条の会」の講演会にも多くの人が参加し、憲法に対する関心が高まっている。参議院選挙ではこの子どもたちのためにも未来に悔いを残さない結果を残したい。(T)

「手良誌」編集を振り返つて

余談ですが、江戸時代の我が国の農村にあって村役人を勤める人材には、読み・書き・算盤の能力に優れるのみならず、後期になれば俳句・短歌・浄瑠璃などの教養の持ち主もいました。

例えば年貢や其の他の負担の割り振りや細かな計算能力には驚かされるものがあります。幕末になれば、そうした裕福な農民だけでなく、小前（こまえ）と言われた中小の農民も経済力を持ち、村政への参加を要求するようになりま

す。いずれにしても、同じ頃のヨーロッパの農民たちと比較してみても、その文化的レベルには驚かされるものがあるようです。これはヨーロッパ史を専門とする学者たちの感想ですが、この背景には、寺小屋の発達なども考えられるでしょう。

なぜ農民たちの間に、そのような学びの意欲や契機が広

生活雑記 (111)

「入棺体験」②

小松利江

健康で何の不自由もなく自分の身の回りの事が自分でできる時の死については、それほど抵抗なく理想的な美しい幸福な最後を想像したり出来るような気もする。元気で白装束を身にまとい、お世話になりました、これからあの世へ旅立ちます、有難うございましたと挨拶を終えてもまだ現実が変わりなくそのままの状態が続いて棺桶から一歩出れば又この世の暮らしが出来る、とても我儘な行動のよ

がっていたのでしょうか。私の大学時代の友人に高橋敏（ともし）という君がいます。彼は群馬大学で教鞭を取った後、国立民族博物館教授となり今はその名誉教授ですが、沢山の著書があり近世史研究では有名です。

高橋君はとりわけ国定忠治とか清水次郎長など博徒であるアウトロー集団について研究を深めてきましたが、彼の歴史を見ていく根底には「正史」というものは常に勝者の歴史である」という思想があります。

正史というものは本来中国の歴史王朝が編纂した正式の歴史のことを指します。

敗れた者の歴史は神史（はにし）（身分の低い役人が集めて記録した民間の物語）としてしか残りません。しかも敗者には、どちらかというところの正当性を証明するための役割を担われる、という指摘は鋭いと思います。

歴史の真実は敗者の間にも存在する、という考えがそこにはあります。高橋君に「国定忠治の時代」という著書があります。（今

は「ちくま文庫」の一冊）忠治と言えば、あの「赤城の山も今宵かぎり」という講談や浪曲の名セリフ、あるいは東海林太郎が直立不動の姿勢で歌う「赤城の子守唄」で、年配の皆さんにはお馴染みですが、最近では知らないと言つ若い人が圧倒的ではないかと

思っています。高橋君は博徒忠治が決して無教養の単なる暴れん坊ではなく、読み書き・剣道も出来、それなりに教育を受けた人物であったことを文献史料だけでなく、路傍の石碑やお寺の墓碑銘等も丹念に訪ね歩き、それらから実証してみせました。

しかも忠治のパトロンとなつた「とく」という女性を通して、当時の女性たちが教養もなくもつぱら男社会に仕える日陰の存在でなく、中には立派な経営的能力を発揮する者も居たことをも立証します。俗に上州は「かかあ天下と空っ風」と言われますが、かかあ天下が必ずしも根拠のないことではないかと私は思つたことでした。（北原 明）

イチジクを栽培しています

下手良中村の農業委員、有賀ファームINNAの有賀徹さん（66歳）は6年程前からビニールハウスでイチジクを栽培しています。

現在、ハウスは2棟あり1棟に一文字仕立て（地面に平行に低く仕立てる）で5本2列、全部で20本栽培しています。

有賀さんは定年を数年後に控えた時期、何か良い作物はないかと模索している折にイチジク栽培者と出会い栽培を始めました。

イチジクは食物繊維のペクチンが多く含まれたアルカリ食品で美容と健康にいいと言われています。

有賀さんの所では年間1万から1万2千個ほど生産しています。栽培を始めた頃には伊那地方にはイチジクを食する文化がなく販売に苦慮しましたが、リピーターも増え、今は近場の直売所で完売出来る状態です。

イチジクは自己防御力が高く、全くの無農薬で栽培できますが、暖地の植物なので冬のハウスの温度を0 以下にならないように保たなければならず灯油の値上がりで経営的には苦労が多いようです。



イチジクハウス

収穫期間は8月上旬から10月下旬で、現地で1パック（4、5個）350、400円くらいで販売もしています。「有賀ファームINNA」の電話78 1641 携帯電話090 262 818336

おはなしかい

手良図書館ボランティア（向山さやみ会長・6名）の皆さんによる「おはなしかい」は6月15日に手良図書館で行われました。何時もは20人位の参加ですがこの日は子ども7名、母親2名でした。梅雨の季節ということも、かたつわり・かえる・ながくつなどの手遊び、

手良営農組合総会

手良営農組合（向山悟組合長・組合員179名）の第7回通常総会が5月25日にJA上伊那手良支所で49名が出席して行われました。

当組合は手良地区に於ける土地利用型農業の担い手として、平成18年10月に発足しましたが、法人化については組合員の意向調査の結果、法人参加者89名と農地の集約が約10haでは、手良一円で効率的な農業経営は困難であるとして、当初の「25年度の農業生産法人設立」を延期しました。

総会では平成24年度の事業報告と決算書が承認されました。

読み合わせや「えかきうた」で楽しみました。「おはなしかい」は平成13年に手良図書館が開設してから小学校低学年を対象に「絵本の楽しさ」を知ってもらうために、毎月（8・1月は休み）1回ボランティアの皆さんによって続けられてきました。

次回は7月20日の10時30分から「おはなしかい」で楽しみます。



おはなしかい

絵手紙教室やっています



高橋きんよ

連絡先 高橋 七八〇九四三

小学校プール開き

手良小学校は伊那市の小学校では一番早く6月13日の早朝にプール開きを行いました。6月5日には全校でプールの掃除も行いました。

各学年の代表が「早く泳げるようになりたい」「目を開けるようにになりたい」などそれぞれに目当てを語りました。

校長先生の話の後、怪我のないように楽しく泳げるようにとみんなでプールの方に向けて目をつぶり願いました。

翌日は初泳ぎでした。



小学校プール開き

（おねがい）身近な出来事を、早く皆さんにお伝えしたいと思えます。何かありましたら左記まで連絡をお願いします。七八〇九四三 高橋

